

新宿区で輝く人“シンジクニスト”

shinjukunist



vol.5

アダチ版画研究所
岸千倉 彫師



江戸の美を伝える 木版画工房

江

戸の人々を魅了した浮世絵を後世に伝えたい……。その

生涯を浮世絵・木版画の普及に捧げた安達豊久氏の情熱は今、落合にあるアダチ版画研究所で受け継がれています。

岸千倉さんは、浮世絵の彫師として10年を迎えた若手職人です。

美術大学で版画を学んでいた岸さんですが、「より本物のものづくりに触れたい」と思い、工房の門を叩きました。浮世絵は絵師の他、版木を彫る彫師と色を摺り重ねる摺師、そして版元に

よってつくられます。アダチ版画研究所は、彫師と摺師が同じ屋根の下で仕事をしている、日本で唯一の工房兼版元です。

岸さんは彫と摺両方の研修後、彫師への道を突き進んできました。

「彫る仕事は同じ作業の繰り返し。でもそのなかで、自分なりに新しいことに挑戦しています」

一人前に認められてからは、さまざまな作品に取り組んできました。なかでも特に彫るのが難しいのが葛飾北斎の作品だそうです。

岸さんによると、「北斎は線を引くのが上手で、線に対する情熱が感じられます。一切のごまかしが効かないので、作品のすみずみまで気が抜けません」とのこと。

伝統的な作品を手掛ける一方で、現代アート作品にも取り組んでいます。そのひとつが、新宿区名誉区民でもある芸術家・草間彌生さんの作品。岸さ

落合は伝統と芸術、自然の街です。ぜひ遊びに来てください



岸千倉

アダチ版画研究所の彫師。美術大学で版画を学んだあとアダチ版画研究所が母体となる公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団の研修生に。1年間の研修後、アダチ版画研究所の見習いに。親方を手伝いながら技術を習得し、現在は一人前の彫師として作品を手掛けている。



アダチ版画研究所
新宿区下落合3-13-17
☎03-3951-2681
🕒火～金 10:00～18:00
土・日 10:00～17:00
🌿月・祝
<http://www.adachi-hanga.com>

MAP P.18-19 D-2

落合の工房で伝統をつむぐ若手彫師

んは、草間アートの特徴である水玉1万4685個を約2カ月かけて彫り上げました。

工房へは、高田馬場駅からおとめ山公園の近くを通って通勤しているそうです。

「公園にある池が好きです。いろいろな鳥が集まって、カワセミの姿を見ることができるといいですよ。春には桜がすぐくきれいですね。根を詰めている時期は、公園に来ると癒されます」と話す岸さん。

落合に息づく自然は、創作の手助けとなっているようです。シヨールームでは、岸さんたち5人の職人がつくった作品を実際に見ることができるほか、購入も可能です。世界に誇る浮世絵の美しさに、落合で触れてみませんか。



草間彌生「七色の富士」



葛飾北斎「神奈川沖浪裏」(富嶽三十六景)